

## 生活を支える義肢装具・今後の義肢装具士の役割と課題 第2弾

### -東北6県による義肢装具士の地域での役割・活動について-

主催 公益社団法人 日本義肢装具士協会  
研修委員会 東北支部

後援 一般社団法人 日本義肢協会 東北支部

我が国では高齢化が進み、世界最高水準の高齢化率となり、超高齢化社会を迎えました。国は、高齢者が豊かな人生を送れる社会の実現を目指す必要があると考えており、そのために国が急務としているのが、「地域包括ケアシステム」の構築といわれています。この地域包括ケアシステムは、「保険者である市町村や都道府県が、地域の自主性や主体性に基づき、地域の特性に応じて作り上げていくことが必要である」とされています。このことより、各地域による特色が生まれ、それを主体としたケアシステムを構築することも重要であると考えられます。

義肢装具士としては、在宅補装具利用者に対して補装具の提供で地域包括ケアシステムと関わるが、補装具提供後の使用状況が不明瞭になりやすい問題があると考えられます。しかし、地域包括ケアシステムは義肢装具士のみで構築していくことは難しく、補装具利用者に対して補装具を提供し続けるには多職種による情報共有を行う多職種連携がより一層必要になっていくと考えられます。

そこで、前年度の東北支部セミナーを踏まえ、今回は東北6県の課題に対する取り組みやそこでの多職種との連携の事例を報告会形式としての企画に至りました。

本セミナーをもとに東北6県の特色や現状・多職種連携を知っていただくことにより、地域包括ケアシステムの中で、義肢装具士がどのように多職種と情報共有し、補装具利用者に義肢装具を提供しているかを学べる機会にしたいと考えております。皆様のご参加お待ちしております。

#### 記

- 到達目標 : ① 各県の事例を知ることで、各県の現状を理解できるようになる。  
② 地域包括ケアシステムの中で、義肢装具士の役割を学ぶことができる。  
③ 多職種間での情報共有の重要性を知ることができる。

- 内 容 : ① 事例報告 : 6例 (1例20分)  
② ディスカッション (30分)

日 時 : 2019年9月7日 (土) 13:00~17:10 (18:00~懇親会)

会 場 : 仙台医健専門学校 第二校舎 4階 〒983-0852 仙台市宮城野区榴岡4丁目11-20

定 員 : 75名

参加費 : 正会員・購読会員 : 3,000円、 非会員 : 7,000円、 学生会員 : 無料

締 切 り : 2019年8月3日 (土)

以上

#### 【注意事項】

参加ご希望の方は件名に必ず「日本義肢装具士協会 東北支部セミナー申込」と記載の上、必要事項(会員非会員の別、会員番号、氏名、勤務先、連絡先住所、電話番号)をご記入の上、**E-mail**にて下記申込受付先までお送りください。

#### 【申込み受付・問合せ先】

公益社団法人 日本義肢装具士協会 研修委員会 東北支部

有限会社 乳井補装具製作所

セミナー幹事 : 小林 央

E-mail : [msin7323@gmail.com](mailto:msin7323@gmail.com)

